

割合39

ある品物 30 kg を 30000 円で仕入れ、200 g ずつ袋につめて売ることにしました。はじめ、仕入れ値の 5 割の利益をみこんで定価をつけて、いくつか売りましたが、大安売りの期間中だけ、次の ④、⑤ の 2 通りの売り方を考えました。

- ④ 定価の 2 割引きで売る。
 - ⑤ 1 袋の量を 2 割増しにして、定価で売る。
- このとき、次の各問に答えなさい。

- (1) ⑤ の売り方で売ったとき、大安売りの期間中の 1 袋あたりの利益はいくらですか。
- (2) 大安売りの期間中に残りの品物をすべて売りつくしたとき、④ の売り方をする場合と ⑤ の売り方をする場合とでは、利益の差が 1200 円になりました。このとき、はじめに定価で売った品物は何袋ですか。

4) $30000 \div 200 = 150$ 袋 [明治大付属明治中]

$$30000 \times 1.5 = 45000 \text{ 円}$$

$$45000 \div 150 = 300 \text{ 円} \dots \text{1袋の値段 (定価)}$$

$$30000 \text{ g} \div 30000 \text{ 円} = 1 \text{ g} \text{ 1円}$$

$$200 \text{ g} \times 1.2 = 240 \text{ g} \dots \text{1袋の値段 240 円}$$

$$300 - 240 = 60 \text{ (円)} \quad \underline{60 \text{ 円}}$$

2) ④ $300 \times 0.8 = 240 \text{ 円} \dots 40 \text{ 円の利益 (1個につき)}$

⑤ は 60 円の利益 (1個につき)

$$1200 \div (60 - 40) = 60 \text{ 個}$$

④ と ⑤ で $60 \times 2 = 120$ 個 を 大安売りで売ったので

$$150 - 120 = 30$$

$$\underline{30 \text{ 個}}$$